



オワりはじまり

本年度最終号になりました。第1号（4月7日発行）では、春の選抜高校野球大会大会歌『今ありて』や開会式での選手宣誓を紹介しました。そして、「私たちにできること、それは学習や部活動、学校行事などに、新しい仲間と共に正々堂々とプレーすることです。ここ詫間中学校がみなさんにとっての“甲子園”になるようにがんばりましょう」と呼びかけました。

春に移行した体育祭は、台風の影響で2日順延しました。しかし、練習不足を“詫中魂”でカバーし、多くの演技に拍手喝采を浴びました。須田保育所との地震・津波合同避難訓練も初めてのことでした。小さな子どもたちを連れて移動する中学3年生が大人びて見えました。合唱コンクールも2年ぶりにマリソウで行いました。生徒たちの合唱はもちろんのこと、職員合唱『オワりはじまり』にも大きな拍手をいただきました。11月には三観地区学校保健研究発表会が開催され、市内の小・中学校や医師会代表の先生方が本校を訪れました。2人の先生が協力して行った研究授業では、生徒たちも大活躍しました。今年初めて設定した「イ〜なの日」では、友達のいいところを見つける中で、自分のよさや成長を実感することもできました。卒業式も厳粛な雰囲気の中で行われ、卒業生記念合唱『栄光の架橋』は感動的でした。このように、多くの行事での様々な体験を通して、一人一人が、そして詫間中学校という集団がより大きく成長しました。

しかし、その一方で、服装・頭髪、交通ルール・マナーの乱れなど、学校内外における生徒たちの姿から多くの人にご心配やご迷惑をかけたのも事実です。多くの方々に注目されていることを実感するとともに、地域を元気づけるシンボルとしての中学校であるためには、まだまだ多くの課題が残されています。

そして、あれから1年、再び選抜高校野球が開幕しました。今年の選手宣誓も私たちの心に響くすばらしい内容でした。改めて、笑顔の素晴らしさ、絆の大切さを感じることができました。平成23年度のオワりは、新しい年のはじまりでもあることを肝に銘じ、有終の美を飾ってください。

東日本大震災から1年、日本は復興の真っ最中です。被災をされた方々の中には苦しくて心の整理が付かず、今も当時のことや亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。人は誰でも答えのない悲しみを受け入れることは苦しくて、つらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、日本中に届けます。感動、勇気、そして、笑顔。見せましょう、日本の底力、絆を。われわれ高校球児ができること、それは全力で戦い抜き、最後まであきらめないことです。今野球ができることに感謝し、全身全霊で正々堂々プレーすることを誓います。

※石巻工野球部・阿部翔人主将

お世話になりました

昨日、平成24年4月1日付香川県教職員人事異動の発表があり、事務員・調理員を含め、12名の先生方が本校を去られることになりました。

退職される先生方にとっては、詫間中学校が教員生活最後の勤務校となります。なかでも、資延校長先生においては、平成18年度から6年間、校長として、学校経営に全力を注がれ、教職員の指導だけでなく、家庭や地域、関係機関との連携などにも積極的に取り組まれました。

また、他の先生方も、詫間中学校での勤務はオワリになりますが、4月から新しい場所での生活がはじまります。健康に留意され、更なるご活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。

氏名	教科等	転任校等
資延 文一	校長	退職
高井 和雄	数学	退職
綾 秀美	養護	退職
詫間 克久	社会	香川大学附属特別支援学校
高橋 利彰	保体	観音寺市立大野原中学校
中野真由美	英語	(未定)
木村 光洋	社会	観音寺市立中部中学校
関 沙苗	数学	三豊市立和光中学校
行天 節子	保体	学校組合立三豊中学校
スコット	英語	(未定)
渡辺 麻衣	事務	三豊市立豊中幼稚園
真鍋こずえ	調理員	退職